

# 『教育心理学研究』編集規程

2013年4月1日法人化に伴い改定

1. 本誌は日本教育心理学会の機関誌であり、1年1巻とし、4号に分けて発行する。
2. 本誌は本学会会員の教育心理学に関する論文の発表にあてる。
3. 本誌に原著論文、展望論文、広報などの欄を設ける。
4. 原著論文は、実証的、実践的、または理論的な研究とする。
5. 原著論文の内、実践研究は、教育方法、学習・発達相談、心理臨床等の教育の現実場面における実践を対象として、教育実践の改善を直接に目指した具体的な提言を行う教育心理学的研究を指す。この場合、小・中・高校の学校教育のみでなく、幼児教育、高等教育、社会教育等の教育実践を広く含めるものとする。
6. 展望論文は、重要な課題について内外諸研究を広く検討し独自の観点から総合的に概観する論文とする。
7. 人権を侵すことにつながる研究や表現は認められない。
8. 本誌に掲載された論文の著作権は日本教育心理学会に帰属する。ただし、著者個人およびその所属組織の Web サイトにおける本誌論文の公表は、出典を明示すればこれを妨げない。
9. 本誌の編集は編集委員会が行う。
10. 投稿論文は編集委員会が審査し、掲載の可否を決定する。
11. 編集委員は社員・編集委員からの推薦をもとに、理事会の議を経て理事長が委嘱する。
12. 編集委員会には委員長、副委員長各1名および常任編集委員をおく。
13. 本誌の編集事務は日本教育心理学会事務局において行う。